

研究費が増やせる

# メディア活用術

山本佳世子・著

2012年6月刊行（税込価格 1995円、176ページ）

「なぜ、この研究の良さが伝わらないのか」

その疑問……マスコミ(論説委員)の目線でお答えします！

研究者にとって、研究費の獲得は死活問題。「お金を取ってくるのが教授の仕事」とまで言われるくらいです。しかし実際は、研究資金の種類が多様化したり、研究分野が学際化したりして、自分の研究を説明しにくいのが現状です。

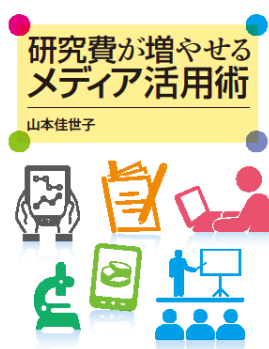
そこで大事になってくるのが、自分の研究の「見せ方（アピールの仕方）」です。本書では「なぜこの研究テーマが通らないのか」「よさが伝わらないのか」など、研究者のつぶやきを直に聞いてきた記者が、マスコミを含む異分野への情報発信やコミュニケーションのノウハウを初公開。マスコミの特性（弱点を含む）やプレスリリースのポイントも説明しています。研究者、コーディネーターや広報担当者の方にお役立ていただけたらと思います。

## 著者略歴

山本佳世子（やまもと・かよこ）……日刊工業新聞論説委員・編集局科学技術部編集委員・東工大他非常勤講師。お茶の水女子大学理学部卒。工学修士（東京工業大学）。博士（学術・東京農工大学）。科学技術報道（化学、バイオ、環境など）、業界ビジネス報道（化学業界、飲料業界）担当を経て、現在、大学・産学連携報道を担当。

## 目次

1. 相手のアンテナが反応する時
2. 記事に採用されるリリースを書く
3. 報道の特性を知ってマスメディアをフル活用する
4. 記者を敵に回さず、味方につけよう
5. インターネットやアンケートの情報を見極める
6. 「これは！」という話をどう引き出すか
7. 大学と企業、文化が違う相手と付き合う
8. 熱意とプレゼンテーション力で心をつかむ
9. コミュニケーションのトラブルを乗り越えて



丸善出版

※ お求めは最寄の書店にて、またはウェブのアマゾンでお願い申し上げます。

丸善出版株式会社：東京都千代田区神田神保町 2-17 神田神保町ビル 6 F

<http://pub.maruzen.co.jp> （営業部 Tel : 03-3512-3256）